

第3章 教育研究組織

1. 現状分析

評価項目①

大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況が適切であること。

＜評価の視点＞

- ・大学の理念・目的を踏まえ、また、学問の動向や社会的要請等に配慮したうえで、教育研究組織（学部・研究科や附置研究所、センター等）を構成しているか。

《学部・研究科》

- 本学は、現在、8学部と4大学院研究科を設置している。学部として、医学部（入学定員138名）、スポーツ健康科学部（同600名）、医療看護学部（同220名）、保健看護学部（同130名）、国際教養学部（同240名）、保健医療学部（同240名）、医療科学部（同180名）、健康データサイエンス学部（同100名）を置き、大学院研究科として、医学研究科（同：修士課程60名、博士課程180名）、スポーツ健康科学研究科（同：博士前期課程61名、博士後期課程10名）、医療看護学研究科（同：博士前期課程29名、博士後期課程12名）、保健医療学研究科（同：修士課程理学療法学専攻5名、修士課程診療放射線学専攻5名）を置いている。これらの教育研究組織は、大学の理念・目的を踏まえ、学問の動向、社会の人材養成ニーズ、国際的環境に配慮し、「健康総合大学・大学院大学」に必要な教育研究組織として整備している。

（大大評3－1 学校法人順天堂組織規則 別表第1 学校法人順天堂組織機構図）

（大大評3－2 令和5年度事業報告書 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等）

（大学基礎データ 表1）

- 近年の動向としては、2022(令和4)年4月に、千葉県浦安市に新キャンパス(浦安・日の出キャンパス)を整備した。3期に分けて新学部を開設する計画が進行している。第Ⅰ期(2022(令和4)年度)には、第7番目の学部として、医療科学部(臨床検査学科・臨床工学科)を開設した。医療技術の専門化・多様化が進む中で、検査・分析のスペシャリストである臨床検査技師や医療機器のスペシャリストである臨床工学技士など、次世代のチーム医療に不可欠な専門人材を養成する。第Ⅱ期(2023(令和5)年度)には、第8番目の学部として、ITやAIを駆使した膨大なデータを扱う専門家を養成する健康データサイエンス学部を開設した。本学が得意とする医療、スポーツ、健康領域のビッグデータを利活用し、同領域の技術革新や発展に貢献することも目指している。第Ⅲ期(2024(令和6)年度)には薬学部(仮称)の開設を予定している。薬学に関する多角的な視点、専門知識及び技能を修得し、臨床実践能力と研究マインドを兼ね備え、健康・福祉の向上に貢献できる人材を養成する。
- 大学院においては、2023(令和5)年度に、本郷・お茶の水キャンパスに保健医療学部を基礎とする大学院保健医療学研究科(修士課程)を開設した。2024(令和6)年度には、国際教養学部を基礎とする大学院国際教養学研究科(修士課程)(仮称)の開設を予定している。
- 各学部では、「教授会」が教育研究に関する運営全般をマネジメントしており、下部組織として、教務委員会、カリキュラム委員会、カリキュラム評価委員会、教員人事委員会等、各種委員会を置いている。大学院各研究科では、「研究科委員会」が教育研究に関する運営全般をマネジメントしており、下部組織として、検討委員会、教員人事委員会等の各種委員会を置き、教育研究に関する検討・審議を行っている。

（大大評3－3 順天堂ニュース 「2023年 No.2307 7月1日号」 委員会一覧）

第3章 教育研究組織

上記の他、学部・研究科の教育研究を支えるとともに、大学の理念・目的を実現するための組織、並びに学問の動向や社会的要請等に対応するための組織として、全学的な教学組織、研究センター・研究所及び医学部附属病院群を設置している。

《全学的な教学組織》

- 全学における数理科学教育（数学、統計学のほか、その応用として諸科学を数理的に研究する数理科学に関する教育）の充実や質の向上を図るとともに、数理科学に関連する科学技術分野の研究を推進するため、2022(令和4)年4月に「順天堂大学数理・データ科学教育研究センター」を設置した。同センターでは、全学的な「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」(J-MDASH: Juntendo Mathematics Data science and AI Smart HigherEducation Program)を整備し、各学部の既存のカリキュラムを活用し、各領域の特性や専門性に応じた教育プログラムを提供している（4章P.31～32）。
- 高度化する医療の現場において多職種連携の重要性が高まっており、医学教育や薬学教育モデルコアカリキュラムにおいても、求められる基本的な資質・能力として多職種連携能力が位置付けられている。学部・職種横断型の教育プログラムを開発するとともに、教育実践に向けた全学的企画・調整を行う組織として、「多職種連携教育（IPE）センター」を2024(令和6)年度に設置する予定である（4章P.32）。

《研究センター・研究所》

- 分野横断的な共同研究を推進し、その成果を学部・大学院教育及び社会に還元するため、大学院研究科にアトピー疾患研究センター、疾患モデル研究センター、老人性疾患病態・治療研究センター、環境医学研究所、研究基盤センター、スポーツ健康医科学研究所、スポーツロジックセンター、先導的がん医療開発研究センター、ゲノム・再生医療センター、女性スポーツ研究センター、静岡災害医学研究センター、難病の診断と治療研究センター、ジェロントロジー研究センター、脳血管内治療学研究センター、AI インキュベーションファーム、シミュレーション教育研究センターを設置している。2023年度には、健康創薬先端リサーチセンターを新たに設置した。これらの研究組織では、学問の動向、社会的要請、国際的環境に配慮し、特色ある研究活動が展開されている（8章P.102～103）。

（大研戦8－2 研究施設の概要 2023）

（大研戦3－1 法人ホームページ 「研究組織一覧」）

《医学部附属病院群》

- 医学に関する教育・研究の臨床の場であるとともに、その成果に基づく社会貢献の実践の場として、医学部に6つの附属病院（合計病床数3,586床）を置いている。総病床数は、日本最大規模を誇る。高度な最新医療を提供する都会型病院である本院機能を果たす順天堂医院及び高度な最新医療とともに、地域医療に関する教育・研究を担当する静岡病院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、練馬病院で構成されている。卒前・卒後の学生や研修医等に対して、高度な最新医療から地域医療まで、更に精神医療及び高齢者医療を相互に連携・補完して学修することのできる教育研究病院として整備している。各附属病院の特色は次のとおりである。

① **順天堂医院**（東京都文京区、1,051床）は、特定機能病院として最新の高度な医療を提供するとともに、臨床研究中核病院の認証も取得し新薬や新たな医療技術の開発のために臨床研究や治験の実施、先進的医療の開発及び評価を実施している。それらの強みを教育研修機関として活かす

第3章 教育研究組織

つ、地域がん診療連携拠点病院、東京都地域周産期母子医療センター、東京都認知症疾患医療センター、東京都災害拠点病院、東京都小児がん地域診療病院、エイズ診療拠点病院、がんゲノム医療連携病院として機能を整備し、それぞれに専門的領域で臨床教育を実践している。

(大大評3-4 順天堂医院 パンフレット)

- ②静岡病院（静岡県伊豆の国市、630床）は、静岡県東部におけるドクターヘリ基地病院、三次救命救急センター、新生児センター、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、静岡県肝疾患診療連携拠点病院、静岡県アレルギー疾患医療拠点病院、災害拠点病院（静岡DMAT指定病院）、地域医療支援病院、臨床研修指定病院、特定行為研修指定研修機関等の医療体制を整備している。これらの特色から救急医療・周産期医療・災害医療・地域医療に関する臨床教育・研究を担当している。

(大大評3-5 静岡病院 パンフレット)

- ③浦安病院（千葉県浦安市、785床）は、千葉県における高度救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院、地域災害拠点病院（DMAT指定医療機関）、エイズ治療拠点病院、全県（複数圏域）対応型脳卒中・急性心筋梗塞連携拠点病院、アレルギー疾患地域基幹病院、地域周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、難病医療協力病院、東葛南部地域難病相談・支援センター、特定不妊治療実施医療機関、地域医療支援病院、紹介受診重点医療機関、結核患者収容モデル事業実施施設、新型コロナウイルス感染症重点医療機関などの医療体制を整備している。これらの特色から、地域における中核医療機関として高度な医療を提供するとともに地域医療に関する臨床教育・研究を担当している。

(大大評3-6 浦安病院 パンフレット)

- ④順天堂越谷病院（埼玉県越谷市、226床）は、精神疾患を中心に診療している医療機関であり、埼玉県東部地域の精神科中核病院として、精神科救急医療事業へ参画し、機能性精神障害及び器質性精神障害の治療に当たっている。開放病棟で、精神科の急性期治療病棟を運用していることが特徴であり、クロザピン、電気痙攣療法、精神科デイケア、ショートケア、作業療法等の精神医療、精神科訪問看護指導等を行っている。これらの特色を生かし、地域医療、看護学、薬学、栄養学、ソーシャルワーク、臨床心理学等に関する臨床教育・研究を行っている。一般診療科においては、内科・脳神経内科・皮膚科・整形外科の診療体制を整備し、入院患者の身体合併症への対応及び膠原病・リウマチ、パーキンソン病等、難病疾患の治療を重点的に進めている。

(大大評3-7 順天堂越谷病院 パンフレット)

- ⑤順天堂東京江東高齢者医療センター（東京都江東区、404床[一般275床、精神（認知症）129床]）は、小児科及び産科を除いた診療科において、救急医療を含めた急性期医療を実践している。認知症の早期診断、早期治療を含む専門医療、高齢者特有の疾患・病態に対する高度医療、リハビリテーション医療、高齢者の救急医療に重点的に取り組んでいる。これらの特色を生かし、内科系及び精神科の医療を中心に、高齢者医療に関する臨床教育・研修を行っている。

(大大評3-8 順天堂東京江東高齢者医療センター パンフレット)

- ⑥練馬病院（東京都練馬区、490床）は、練馬区の重点施策である救急、小児・周産期、がん医療を中心とした最先端医療を担う地域医療支援病院として、災害拠点病院、東京都がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、東京都救命救急センター（3次救急）に認定されている。そして、今年度よりあらたに歯科外来の充実による周術期ケアの拡充、退院調整の促進及び患者サービスの向上に向けて、増築工事が開始された。卒前・卒後教育においては、学生実習と臨床研修を積極的に実施し、教育の機会を提供して大学病院としての診療機能の向上と高度な専門領域の臨床教育を進めている。

第3章 教育研究組織

(大大評3-9 練馬病院 パンフレット)

《学部・研究科と附属病院との連携》

- 医学部附属病院群は、医学部以外の学部・研究科における主たる実習施設としての機能も果たしている。医療看護学部及び保健看護学部では、各種実習が円滑に行われるよう、各附属病院の看護部長をはじめ看護スタッフが教員として参画する「実習説明会」及び「実習指導者研修会」を毎年開催し、学部と一体となった指導が行われている。実習委員長が、「附属6病院看護部門責任者会」に出席し、実習施設と学部との連携を図っている。
- 保健医療学部では、高い資質を持つ理学療法士・診療放射線技師を養成するため、医学部附属病院と連携し1年次より臨床実習科目の設定や病院見学を実施している。各種実習が円滑に進行するよう各附属病院の実習担当者と「実習説明会」を開催する等、学部・病院が一体となった指導環境を整えている。
- 医療科学部では、臨床検査学科の臨地実習及び臨床工学科の臨床実習を、医学部各附属病院を中心に行う予定である。本学部臨地及び臨床実習担当教員は、附属病院臨床実習指導者と連携を密にし、実習学生に対しきめ細かい指導を行う計画である。
- 大学院医学研究科では、医学部附属病院群において、学生の研究目的に沿った臨床研究や、専門医等申請資格要件を満たすための臨床的な指導等が実施されている。
- 本学の臨床実習は、医療機関として相応しい外部評価を受けた医学部附属病院を中心に行っている。医学部附属病院が受審している外部評価は、(公財)日本医療機能評価機構の病院機能評価である。
(大大評3-10 病院機能評価認定状況一覧)

評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- ・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。

- 本学では、教育研究組織について、自己点検・評価を毎年度実施している。教育研究組織が理念・目的を実現するために適切に整備されているか、定期的に点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組んでいる。「自己点検・評価運営委員会」では、各部門で行った自己点検・評価を踏まえ、全学的な自己点検・評価を行っている。「内部質保証推進委員会」では、自己点検・評価を通して教育研究組織の適切性を把握し、その結果を学長に報告している。学長は、その報告を受け、改善を要する事項について指示を行うという教学マネジメント体制を確立している。

(大大評3-11 自己点検・評価運営委員会(R5-1)議事録_令和5年4月)

(大大評2-29 内部質保証推進委員会(R5-2)議事録_令和5年5月)

- 各学部・研究科レベルにおいても、教授会・研究科委員会とその下部組織である各種委員会を通じて、教育研究組織の適切性について定期的な検証を行い、その結果を基にそれぞれ改善・向上に向けた取り組みが行われている。

(大大評3-12 各学部・研究科における教育研究組織の適切性の検証及び改善・向上に向けた取り組み)

- 点検・評価の結果、教育研究組織に関わる事項の改善・向上に繋がった事例は以下のとおりである。

第3章 教育研究組織

①学部・研究科の新設・改編

教育研究組織の新設・改編に関しては、教授会・研究科委員会で審議した結果を受け、大学協議会・大学院委員会にて全学的な観点からその適切性・必要性について審議し、理事会にて最終的な判断を行っている。近年の学部・研究科の新設は以下のとおりであり、上記の各プロセスによる慎重な審議・手続きを経て方針を決定している。

開設年度	学部・研究科	学科・専攻	入学定員
2019(令和元)	保健医療学部	理学療法学科	120名
		診療放射線学科	120名
2022(令和4)	医療科学部	臨床検査学科	110名
		臨床工学科	70名
2023(令和5)	健康データサイエンス学部	健康データサイエンス学科	100名
	保健医療学研究科修士課程	理学療法学専攻	5名
		診療放射線学専攻	5名
2024(令和6)予定	薬学部(仮称)	薬学科(仮称)	180名
	国際教養学研究科修士課程(仮称)	国際教養学専攻(仮称)	5名

②研究所の新設

大学院医学研究科では、臨床シーズを効率的に開発研究に結び付け、学術的基礎研究の推進及び医薬品産業への支援を図り、大学発の健康・機能性素材や医薬品の開発に携わる研究者や専門職者の養成を行うため、医学研究科委員会において、講座・研究室の枠にとらわれない拠点の整備を審議し、令和5年10月に「健康創薬先端リサーチセンター」を設置した(8章P.103)。

2. 分析を踏まえた長所と問題点・課題

2-1. 長所

1) ニーズに応じた教育研究組織の整備

本学では「健康総合大学・大学院大学」として、グローバル社会で医療・健康・保健・福祉に貢献できる人材を育成・輩出していくため、教育研究組織の点検・評価を踏まえながら、着実に学部・研究科を拡充している。あわせて、学部・研究科における教育研究活動を下支えする全学的な教学組織や研究組織についても、学問や研究動向、社会的ニーズに応じて適時適切に整備を進めている。

2-2. 問題点・課題

特になし

3. 改善・発展方策

3-1. 長所の発展方策

1) ニーズに応じた教育研究組織の整備

学問や研究の動向、社会的人材養成ニーズ、大学を取巻く国際的環境等に配慮しながら、学部・研究科設置や入学定員増の検討を進め、収容定員1万人規模の「健康総合大学・大学院大学」に発展させることを目標に教育研究組織の更なる充実を図っていく。

第 3 章 教育研究組織

3-2. 問題点・課題の改善方策

特になし

4. 全体まとめ

本学は、大学をとりまく環境変化や社会的要請に応じ、理念・人材養成目的を踏まえ、現在 8 学部・4 研究科を設置している。1 万人規模の「健康総合大学・大学院大学」に発展させることを目標とし、規模の拡充を図っている。2022(令和 4)年 4 月には、5 つ目のキャンパスとして、千葉県浦安市に「浦安・日の出キャンパス」を開校した。同キャンパスには、Ⅲ期に分けて学部を開設していく計画が進行中である。第Ⅰ期として 2022(令和 4)年度に医療科学部(臨床検査学科、臨床工学科)、第Ⅱ期として 2023(令和 5)年度に健康データサイエンス学部を設置し、第Ⅲ期として 2024(令和 6)年度に薬学部(仮称)の開設を計画している。大学院では、2023(令和 5)年度に保健医療学研究科(修士課程)を設置し、2024(令和 6)年度には国際教養学研究科(修士課程)(仮称)の開設を計画している。既存の組織についても、自己点検・評価運営委員会、内部質保証推進委員会、大学協議会、大学院委員会、教授会、研究科委員会等により定期的に検証を行い、学部・研究科の新設・改編やコース増設等により組織の充実を図っており、本学の理念・目的を実現するための教育研究組織は整備されている。

第 3 章 教育研究組織

5. 根拠資料

資料 No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
1	大大評 3-1	学校法人順天堂組織規則 別表第 1 学校法人順天堂組織機構図
2	大大評 3-2	令和 5 年度事業報告書 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等 (P. 8) https://www.juntendo.ac.jp/assets/43cbee881064382836af6886d7b34afa.pdf
3	大大評 3-3	順天堂ニュース「2023 年 No.2307 7 月 1 日号」 委員会一覧
4	大研戦 3-1	法人ホームページ 「研究組織一覧」 https://www.juntendo.ac.jp/research/organization/organization/
5	大大評 3-4	順天堂医院 パンフレット
6	大大評 3-5	静岡病院 パンフレット
7	大大評 3-6	浦安病院 パンフレット
8	大大評 3-7	順天堂越谷病院 パンフレット
9	大大評 3-8	順天堂東京江東高齢者医療センター パンフレット
10	大大評 3-9	練馬病院 パンフレット
11	大大評 3-10	病院機能評価認定状況一覧
12	大大評 3-11	自己点検・評価運営委員会 (R5-1) 議事録_令和 5 年 4 月
13	大大評 3-12	各学部・研究科における教育研究組織の適切性の検証及び改善・向上に向けた取り組み